

【 区における多文化共生に向けた取組み 最近の動向 】

外国にルーツをもつ子どもの学習支援が広がりを見せている

従来の教育委員会による小学校 4 年生～中学 3 年生を対象にした「帰国した子どもの教育センター校」(小学校 4 校、中学校 4 校：昭和 59 年～現在)や小学校 1 年生～3 年生を対象とした「日本語指導協力者」派遣のほかに、教科学習に必要な日本語の力身につけるため、学習サポーターを配置し必要な学習支援を行っている(外国籍児童生徒サポート事業等) ...4 区

防災マップの多言語化が広がりを見せている

防災マップや津波浸水深サイン等を区独自で多言語化している、また、多言語化を検討している...6 区

「やさしい日本語」での情報発信が定着してきている

区役所庁舎の案内...20 区

防災に関する情報発信...16 区

「やさしい日本語」のお知らせを集めたページ...16 区

子ども・子育ての場で外国籍住民との様々な交流イベントが開催されている

子ども向けイベントで外国文化の体験ブース

・モンゴル移動式パオ「ゲル」の組み立て体験、民族衣装体験、民族楽器の演奏など
(西区：スプリングフェスティバル)

・中国の遊び体験、中国語のあいさつ、クイズ
(東住吉区：のびのび・ワクワク体験広場)

子育てサロンでの多文化交流

・ウイグル(中央アジア)の歌と舞踊、外国語での手遊びや絵本読み聞かせ、子育てのおはなし
(西淀川区：に～よんステーションTABUNKA)

地域の外国籍住民と英語で交流する小・中学生向け連続講座

・世界の数字の教え方、あいさつ、ゲームや、ハロウィーンや春節といった世界の行事の体験
(港区：多文化カフェ)

機械翻訳、グーグル翻訳によりホームページが多言語で表示できる

・平成 29 年 1 月より、市ホームページのすべてが、自動翻訳機能で提供しており、区役所のページも翻訳される(英語、中国語、韓国・朝鮮語の 3 言語を機械翻訳で提供しているほか、Google 翻訳機能で 86 の言語翻訳の利用が可能)